

2026年 2月 12日

各 位

会 社 名 株式会社紀文食品
 代 表 者 名 代表取締役社長 堤 裕
 (コード番号: 2933 東証プライム市場)
 問 合 せ 先 取締役兼常務執行役員
 グループ統括室長 上野 勝
 (TEL 03-6891-2600)

2026年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正（減配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期通期（2025年4月1日～2026年3月31日）業績予想及び配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2026年3月期通期（2025年4月1日～2026年3月31日）業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 115,626	百万円 5,020	百万円 4,450	百万円 3,000	円 錢 131.41
今回修正予想 (B)	111,164	3,702	2,956	1,543	67.61
増 減 額 (B - A)	▲4,462	▲1,318	▲1,494	▲1,457	
増 減 率 (%)	▲3.9	▲26.2	▲33.6	▲48.6	
(ご参考) 前期実績 2025年3月期	108,912	4,513	4,191	2,587	113.36

(2) 業績予想の修正の理由

売上高については、国内食品事業において様々なコスト増に対応するため2025年9月から価格改定を実施し、その後もカニカマ・竹輪・はんぺん・玉子加工品等のカテゴリーでは販売数量が増加し、売上高も伸長したものの、競争環境の厳しい他のスリミ製品、惣菜商品では販売数量が減少し、想定した売上高の確保ができなかったこと、及び海外食品事業において米国の通商政策に伴う混乱、各国でのインフレ等に起因した食料品に対する消費不振が継続したこと等により売上高が減少し、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

利益面については、上記の理由に加え、主原料の価格上昇が継続する中、野菜や鶏卵などの副原料、資材等の原材料価格も想定を超えて高騰したほか、海外食品事業における工場稼働率の悪化や急速なタイ・バーツ高の影響等により、利益率が低下しました。この結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を下回る見通しとなったため、業績予想を修正いたしました。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正について

	年間配当金			【参考】 連結配当性向
	第2四半期末	期末	合計	
前回発表予想 (2025年5月15日発表)	円 錢 0.00	円 錢 23.50	円 錢 23.50	% 17.9
今回修正予想	0.00	20.00	20.00	29.6
当期実績	0.00			
前期実績 (2025年3月期)	0.00	20.00	20.00	17.6

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと考えております。将来の事業展開と財務体质の改善に必要な内部留保を確保しつつ、業績及び将来の見通しを総合的に勘案して、安定した配当を継続して実施しております。「中期経営計画 2026」の期間中は、当社グループが「を目指す姿」の具現化に向け、成長分野への投資や自己資本比率の改善に優先して取り組みながら、連結配当性向 20%を目標水準とし、事業成長に合わせた利益還元の向上に努めています。

しかしながら、誠に遺憾ではございますが今回の業績予想の修正に伴い、2026年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり配当金 23.50 円を 20.00 円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解の上、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※ 本資料における業績予想については、発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想と異なる場合があります。

以上